

【2023年度 教育連携委員会 事業計画】

委員長校 : 神戸大学

副委員長校: 大手前大学

委員校: 大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、神戸医療未来大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸芸術工科大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学 計23校

<目的>

加盟校の教育・研究の質を高める「多元的学び」を提供する取り組みとして、加盟校の教育事業についての相互連携、教育資源及びテクノロジー活用に関する相乗効果を図る。

「大学間連携による多様な教育ニーズ」に対応する教育活動を通じて、多様な学生の交流を促進し、学修動機と学修経験の強化、教育効果の向上を目指す。

さらに、学生の所属校の垣根を越えた学びに対して単位認定の道を開くことで、学生が幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性の涵養を図るとともに、コンソーシアム事業への参画の動機づけや、地域貢献活動の実現も期待する。

<内容>

1. 単位互換事業の実施

加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。その際に「多様なメディアを高度に利用した」科目等も取り入れる。

2. 多様な学修機会の提供

加盟校に通う学生等に多様な学修機会を提供するため、加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供する。

<期待される効果>

1. 単位互換事業の実施

(1)「多様なメディアを高度に利用した」授業科目を本格的に取り入れることで、大学間の地理的・時間的課題を解消し、より多くの学生に大学の枠を超えた学びの場の提供をすることによる教育効果の向上。

(2)コンソーシアム事業(国際交流、地域連携、社会連携等)に対する学生への意識づけの促進。

2. 多様な学修機会の提供

(1)加盟校の教育資源を活用する「多元的学びの機会」を継続的に提供することによる、加盟校の教育事業についての相互連携、教育・研究の質の向上。

(2)異なる分野の学生等の交流促進による広い視野を持った人材の育成。

課題⑦ 大学間連携による多様な教育ニーズへの対応		予算額
取組1	単位互換事業	520,000円
取組2	多様な学修機会の提供事業	80,000円

【2023年度 教育連携委員会 事業計画(⑦取組1)】

【⑦取組1】達成目標	各年開放科目数10科目以上
【⑦取組1】活動指標	送り出し校数・5校/年

課題⑦	大学間連携による多様な教育ニーズへの対応
達成目標【⑦取組1】	各年開放科目数10科目以上
課題を解決する取組概要【⑦取組1】	単位互換事業の実施
活動指標【⑦取組1】	送り出し校数・5校/年

内容 (計画)	<p>加盟校において幅広い科目の履修や学びの機会を提供するため、兵庫県の地域特性や加盟校の特徴を生かした授業及び集中講義を中心とした単位互換事業を実施する。その際に距離的・時間的制約により履修が困難とされてきた授業について、可能な範囲で教育のICT化の工夫を取り入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 2023年度単位互換事業 兵庫県の地域特性や各大学の特徴を生かした特色的な科目やフィールドワーク等の実践的な科目など80科目以上を開放科目として実施する。 単位互換包括協定書締結大学の拡大 協定未締結大学に対して、継続的に協定締結に向けた依頼を行う。 単位互換事業の広報活動について HP、ポスター等を活用して単位互換事業の広報活動を継続的に行う。
------------	--

新しい試み等 (事業計画に記載)	
---------------------	--

事業収支	収入	支出	収支	備考
	520,000			

自己評価	【対到達目標】		【対継続性】	

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成
- 3:当初計画を達成
- 2:当初計画をやや下回った
- 1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき
- 3:本プログラムは継続しても良い
- 2:本プログラムの継続には改善が必要
- 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	
--------------------------------	--

【2023年度 教育連携委員会 事業計画(⑦取組2)】

【⑦取組2】達成目標	各年プログラム数5件以上
【⑦取組2】活動指標	参加者数50人以上/年

課題⑦	大学間連携による多様な教育ニーズへの対応
達成目標【⑦取組2】	各年プログラム数5件以上
課題を解決する取組概要【⑦取組2】	多様な学修機会の提供
活動指標【⑦取組2】	参加者数50人以上/年

内容 (計画)	<p>加盟校に通う学生等に、多様な学修機会を提供するため、本計画期間内において、加盟校が実施する講座等を開放し、学びの機会を継続的に提供するするとともに、「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」を広く加盟校に運用していただきながら、ICTを活用したコンテンツ制作の支援活動を行う。</p> <p>1. 公開講座等の大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校への開放 2023年度においても加盟校の公開講座やセミナー等の多様な学修機会を大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の教職員ならびに学生へ広く開放することとする。</p> <p>2. ICTを活用したコンテンツの検討 「大学eラーニング協議会共通基盤教育システム」を教育連携委員会委員校以外の加盟校にも広く周知するとともに、昨年度に引き続き「教育コンテンツ提案」WGを開催する。WGでは、ICTを活用した授業コンテンツ等について、大学間の情報交換やコンテンツ制作支援につながる活動を引き続き行う。</p>
------------	---

新しい試み等 (事業計画に記載)									
事業収支	<table border="1"> <tr> <td>収入</td> <td>支出</td> <td>収支</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>80,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	収入	支出	収支	備考	80,000			
収入	支出	収支	備考						
80,000									

自己評価	【対到達目標】	【対継続性】

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4: 当初計画を上回って達成
- 3: 当初計画を達成
- 2: 当初計画をやや下回った
- 1: 当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4: 本プログラムは継続すべき
- 3: 本プログラムは継続しても良い
- 2: 本プログラムの継続には改善が必要
- 1: 本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	
----------------------------	--

2023年度 教育連携委員会 事業予算

(単位:円)

	予算	各プログラム 予算				委員会 予算		
		取組1		取組2				
		単位互換事業		多様な学修機会の提供事業		内訳	予算額	
		内訳	予算額	内訳	予算額			
収入	会費収入	700,000		520,000		80,000		100,000
	助成事業収入	0						
	受託事業収入	0						
	プログラム収入	0						
	雑収入	0						
	戻入金	0						
	計	700,000		520,000		80,000		100,000
支出	会議費	10,000					検討委員会開催費	10,000
	旅費交通費	10,000					旅費交通費	10,000
	通信運搬費	33,000					郵送代	33,000
	消耗品費	0						
	新聞図書費	0						
	印刷製本費	140,000	ポスター・チラシ制作費	140,000				
	光熱水料費	0						
	賃借料	0						
	保険料	0						
	謝金	130,000	ポスター・チラシデザイン謝金	80,000	講師等謝金	50,000		
	租税公課	0						
	支払手数料	4,000					振込手数料	4,000
	諸会費	30,000			eラーニング協議会会費	30,000		
	委託費	333,000	単位互換HP更新費	300,000			各プログラムHPに係る予備費	33,000
	人件費	0						
	接待交際費	0						
	支払支援金	0						
雑費	10,000					委員長校・副委員長校連絡調整等	10,000	
計	700,000		520,000		80,000		100,000	

収入－支出	0
-------	---